

「なんちゃってダブルチェック」はいらない!

効果的なダブルチェックとシングルチェック

多くの施設が薬剤の確認に「ダブルチェック」を行っていると思いますが、「ナンでもカンでもダブルチェック」が氾濫していませんか? また、ダブルチェックの方法が曖昧で、部署によってやり方が違うなんてことはありませんか? 繁忙な業務の中、より実効性のあるチェック方法について様々な病院の取組みをご紹介します。

1 ダブルチェックの具体的な手順を明示



一人連続型・一人時間差型・一人双方向型・二人連続型・二人連続双方向型・クロス型・ドリル式など、他にもまだまだあります。

2 どの場面で何を照合するか明示



取出す際 指示簿の薬剤名とバイアルの薬剤名、薬剤ラベルの薬剤名を照合

投与時 ネームバンドのバーコードと薬剤ラベルのバーコードを照合

3 「なんでもダブルチェック」の廃止

ダブルチェックは「間違いを見つけるための手段」です。多重課題の中で多くの作業をこなす看護師にとって、パフォーマンス的なダブルチェックは、時間とヒトの無駄遣い。

当委員会の半数の施設がシングルチェックを導入しており、シングルチェックに変更してもインシデントの増加は認めていません。

※シングルチェックは指差し確認で。

重要!
一人一人が責任を持つことが大事!

重要!
「業務の効率化」に取り組む勇気を!

4 ダブルチェックが必要な薬剤を明示

各施設のダブルチェックが必要な薬剤に共通するのは...

- ・抗がん剤 ・麻薬 ・インスリン ・カリウム製剤
- ・計量が必要な薬剤 ・新人看護師のサポート など

例:
ニカルジピン5mgを生理食塩水で希釈し、total30mLに。

重要!
ダブルチェックが必要な薬剤は、院内で検討しましょう!

6R(ピー・ディ・ピー・ディ・アール・ティ)

- **Right Patient** 患者氏名 (指示簿の氏名、処方箋の氏名、薬剤ラベルの氏名、名乗ってもらう、PDAによるバーコード照合)
- **Right Drug** 薬剤名 (指示簿の薬剤名、処方箋の薬剤名、薬剤ラベルの薬剤名、PDAによるバーコード照合)
- **Right Purpose** 目的 (治療方針、患者の状態)
- **Right Dose** 用量 (指示簿の用量、処方箋の用量、薬剤ラベルの用量、PDAによるバーコード照合)
- **Right Route** 投与方法・用法 (指示簿の用法、処方箋の用法、薬剤ラベルの用法、PDAによるバーコード照合)
- **Right Time** 日時・回数、投与速度 (指示簿の日時、処方箋の日時、薬剤ラベルの日時、PDAによるバーコード照合)

Check!

認証画面に「×」が出たのに、『バーコードリーダーの調子が悪いんやわ』なんて理由をこじつけて投与してませんか?

PDAが「×」と言ったら、信じて原因を探しましょう。

しっかり確認を!

